

大学への夢も

— 学校のある松橋療護園 —



及び有明の臨海工業地帯並びに内陸部地帯に工場を誘致するための経費四百万円を計上した。

又、工業化に必要な砂鉄等の地下資源の開発調査に要する経費三百五十万円を計上し、あわせて産炭地域振興調査に要する経費も計上した。

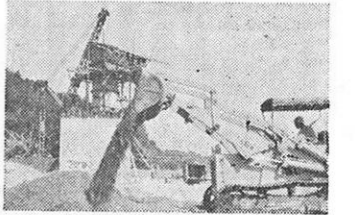
■県営有料観光道路を新設

赤水―湯谷―山上線十詰の道路を幅七尺にひろげ、全面舗装し、県営有料観光道路として整備するための経費一億五千三百万円を計上した。これによって、阿蘇山という世界的観光資源を十分に利用して、これからますます多くなる大衆旅行に備えることとしたわけである。

■獲る漁業から作る漁業へ

本県漁業者の所得の増大を図るため「獲る漁業から作る漁業へ」と強力に推進するための経費約二千八百万円を計上した。

内容として主なものは、天草西方海域に大型の「魚のアパート」を作るための経費約一千三百万円、たこ産卵施設と、のり肥料筒の設置を奨励し、浅海増養殖の振興を図るための経費二百三十万円、これに加えて、これら事業を推進していく漁業協同組合を強化するための経費二百四十万円等がある。



土 木

59億 9 千万円

■道路と橋に四十二億円

総延長三千七百八十詰の舗装や改良、砂利道の維持管理を十分に実施する経費を前年より大幅に増額した。

道路と橋については、毎年重点的に事業を実施しているため、主要幹線道路では、着々と工事が進んでいる。予算額は国直轄事業費、公共事業費の合計は四十一億五千万円とふえ、前年最終三十五億四千万円余より約一七％もふえている。事業量は次第にふえ、道路の整備がぐんぐん進められていく。

■河川と砂防に十億円

災害発生を未然に防ぐため、河川改修や砂防堰堤の築造を実施している。前年より約一四％増の総額約十億円を計上した。このほか、水防体制の強化をはかるため、水防無線の中継局を鞍岳に設置すると共に、御船と甲佐に固定局を増設する。

有明臨海工業地帯建設費六億円を計上し前年に引き続き長洲地先に工業用地の造成を行なうこととした。八代港、三角港などの主要な港湾はしゅんせつ、物揚場の整備等を実施し、貨物処理の円滑化をはかる。

■港湾整備も着々と



教 育

118億 9 千万円

■ふえた教育予算

教育費は百十八億八千八百五十万円と、昨年度の九十一億五千万円を上まわり県の予算のうちでは最も多く、総額の約三七％を占めている（昨年度は三四％であった）

これは小・中学校及び高等学校の先生の人件費及び高校生徒急増対策費がその主なものである。

■高校生徒急増対策

高校生徒急増のため、昨年から新しく設置した天草工業高校、球磨工業高校、玉名工業高校の建築費五億六千二百二十八万円を計上し、六十二学級の定員増をした。

農業の近代化に対応する農業教育を行なうため、国の補助金で阿蘇農業高校、天草農業高校の施設整備の充実をはかることとしたが、国の補助が十分でないので、前年度に引き続いて全農業高校に一千万円の県費で近代化を促進することとした。

■農業高校を近代化



警 察

16億 9 千万円

■施設や機動力を充実強化

今年はお朽化している山鹿警察署を移転新築することとした。松橋自動車運転免許試験場は、一千三百五十万円を投じて施設を完成させるので、受験申し込みに対して、無制限に受け付けることができるようになる。

■第一線警察官の機動力を強化するため、

駐在所用の単車を前年の二倍にあたる八十台購入するほか、捜査用車輛など購入することとし、犯罪捜査や交通事故の防止に努めることにした。